

高等部3年 生活単元学習指導略案

- 1、題材 好き嫌いについて考えよう
- 2、ねらい ・苦手な食べ物も進んで食べようとする意欲を持つことができる。
 ・地産地消の良さを知り、食べることを大事に考える
- 3、日時 10月19日(金) 3. 4限目 ・10月31日(水) 給食時
- 4、場所 会議室

5、指導過程(10月19日 金)

学習活動	指導上の留意点
1、はじめのあいさつをする	・座る席は班(A・B・C)単位とし、机の場所を黒板に書いておく。
2、話を聞く(本時の内容を知る)	・本時の学習内容や流れを伝達する。
3、好きな(好みの)食べ物についての話を聞く	・授業の導入にあたり、ゲスト(ゲゲゲの鬼太郎とその仲間たち)の好きな食べ物を紹介をする。 ・キャラクターの紹介をする前に、アニメのテーマソングを流し、生徒の興味関心を引く。 ・それぞれに好みの食べ物があることを伝える一方、「逆に、嫌いな食べ物もあるのでないか」と投げかける。
4、嫌い(苦手)な食べ物について知る	・ワークシートを作成し、あらかじめ、生徒に野菜の好き嫌いのアンケート調査を実施しておく。 ・ワークシートと赤黄緑の玉(玉入れ用)を配り、選んだ色の玉を挙げさせることで、野菜の好き嫌いの傾向を把握し、数値で生徒に示す。 ・支援が必要な生徒には、担任が普段の給食時の様子から判断して、アンケートに答えたり、一緒に玉を挙げたりする。
5、地元野菜の話を聞く	・最後に、高2の生徒が苦手とする野菜を発表する。(赤色のマグネットを野菜の横につける) ・農家の方々から、新鮮な野菜を届けていただ

<p>6、感想を聞く</p> <p>7、偏食(好き嫌い)せずに食べることの大切さを知る</p> <p>8、おわりのあいさつをする</p>	<p>いていることを知らせる。(種類や栄養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発表したい生徒に、感想等を聞く。 ・まとめとして、旬の野菜を摂取することが健康な体のために良いことを伝え、進んで野菜を取ろうとする気持ちを持つことの大切さを説く。 ・「人の命は食べ物の上に成り立っていること」を知らせ、自分の食生活を振り返らせる。 ・学習のまとめとして、イラストを使い、苦手な野菜にも栄養があり、偏食せずに食べることのメリットを伝える。 ・食物アレルギーや体調不良等、身体の都合でない限り、平気で物を残すことなく、(自分の体のことを思い)一口でも食べようと努力することの大切さを説く、と同時に「食べることを大事にする人になってほしい」という思いを伝える。
--	---

指導過程(10月31日 金)

学習活動	指導上の留意点
<p>1、偏食(好き嫌い)せずに食べることの大切さを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の導入部分のゲスト(ゲゲゲの鬼太郎とその仲間たち)の面をつけ、いろいろな食品を摂取することが健康な体のために良いことを伝え、苦手な食べ物も偏食せずに食べることの大切さを伝える。 ・食物アレルギーや体調不良等、身体の都合でない限り、平気で物を残すことなく、(自分の体のことを思い)一口でも食べようと声かけをする。

- 6、準備物 鬼太郎・目玉おやじ・ねずみ男・一反もめん・かっぱ・ネコ娘のイラスト・食品カード
ゲゲゲの鬼太郎のアニメCD・CDデッキ・ワークシート・シール(赤黄緑)
玉(赤黄緑)・ビデオ・テレビデオ・好き嫌いなく食べることのメリットのイラスト
目玉おやじのTシャツ・マグネット(赤黄緑)